

産業成長戦略の第1四半期の進捗状況等

分野： 水産業分野

戦略の柱： 活力ある漁村づくり

取組方針： 高齢者や女性の活躍の場づくり、交流人口の拡大

【概要・目的】

地域での暮らしを支えるために高齢者に対応した漁場づくり、遊漁や体験漁業の振興に取り組む

平成 29 年度の当初計画 (P)

1. 高齢者や女性の活躍の場づくり

(1) 高齢者等に対応した漁場づくり

- 漁港を活用した漁場づくり
 - ・投石事業に関する包括的な計画作成（黒潮町）
 - ・H30 年度実施に向けた検討の実施
- 地先海域を活用した漁場づくり
 - ・H30 年度の漁場整備計画の検討

2. 交流人口の拡大

(1) 遊漁や体験漁業の振興

- 遊漁等の振興
 - ・関係者（漁指、市町村、地域本部）との連携による新たな取り組みの掘り起こし
 - ・補助事業を活用した基盤整備、情報発信等の取組の支援
 - ・遊漁振興に関するアドバイザーの委嘱（6月）
 - ・遊漁船業等振興事業費補助金の要望調査（8月）
 - ・遊漁船業に関する研修会の開催（11月）
- アサリの増殖
 - ・活動組織及び水産試験場によるモニタリング
 - ・大規模被せ網事業の実施
 - ・メンテナンスの手間がかからない被せ網の形状や敷設方法の検討
 - ・H30 年秋の一部解禁に向けたルールづくり

計画を進めるに当たってのポイント

1. 高齢者や女性の活躍の場づくり

(1) 高齢者等に対応した漁場づくり

- 漁港を活用した漁場づくり
 - ・投石事業に関する包括的な計画作成（黒潮町）
- 地先海域を活用した漁場づくり
 - ・投石による漁場整備に関する関係市町村の意向確認

2. 交流人口の拡大

(1) 遊漁や体験漁業の振興

- 遊漁振興策
 - ・アドバイザーの個別指導によるサービス業としてのレベルアップ
- アサリの増殖
 - ・被せ網によるアサリ資源回復対策の大規模実施

平成 29 年度上半期の取り組み状況 (D)

1. 高齢者や女性の活躍の場づくり

(1) 高齢者等に対応した漁場づくり

- 漁港を活用した漁場づくり
 - ・田野浦漁港での漁場づくりについて黒潮町との協議（4/25、5/8）
 - ・同港における投石について、黒潮町が関係地域との調整を継続
- 地先海域を活用した漁場づくり
 - ・投石による地先海域（佐賀）での漁場づくりについて、民間企業と黒潮町の連携による実施を協議（4/25）→8月までに対象海域等を決定し、波が静穏となる年明けごろの実施で調整
 - ・実施海域や投石規模を検討するため、当該企業が黒潮町佐賀周辺で現地調査を実施
 - ・民間企業から提案のあった投石実証事業計画について、関係機関が協議（7/27）

2. 交流人口の拡大

(1) 遊漁や体験漁業の振興

- 遊漁等の振興
 - [浦ノ内湾の（釣り筏）]
 - ・H29 年度イベントの開催について浦ノ内湾釣り筏振興会と連携先であるホテル（4/19、5/30）、少子対策課（5/22）と協議し、年3回のイベント実施を決定
 - ・浦ノ内湾釣り筏振興会がPRパンフレットを観光施設等へ配布（5/10）
 - ・障害児者と家族を対象とした釣り大会を開催（6/3）
 - ・小学生を対象とした釣り大会の開催（8/20）
 - ・宇佐から浦ノ内にかけてのクラスターの形成について関係者と協議（随時）

[黒潮町]

- ・海洋資源等を活用したサービス業の振興について黒潮町と協議（4/28）→釣り筏、ホエールウォッチング、漁家民泊を活用（国の農山漁村振興交付金を活用）
- ・アドバイザーによる現地調査及び課題抽出（6/27～29）
- ・海洋資源等を活用したサービス業の振興について黒潮町の事業者との意見交換会を開催（8/18）

[竜串地区]

- ・民間企業が宿泊施設と連携し、遊漁船業やダイビング等への誘客事業に着手
- ・土佐清水市泊泊推進協議会の設立に向けた準備会の開催（8/2、9/8）と国の農山漁村振興交付金（2次募集）の活用を検討

[甲浦地区]

- ・東洋町中山間地域活性化協議会がブルーツーリズムを推進するために、マーケティング調査、観光コンテンツの磨き上げ、人材育成、情報発信の強化などの取組を開始（国の農山漁村振興交付金を活用）

○アサリの増殖

- ・宇佐地区協議会（漁業者、アサリ販売業者、漁協等で構成）によるモニタリング調査及び既設の被せ網のメンテナンス（5月～）
- ・宇佐地区協議会による大規模被せ網（3ha）の敷設を開始（6月～）

見えてきた課題と平成 29 年度の取り組み (C、A)

見えてきた課題・改善策

1. 高齢者や女性の活躍の場づくり

(1) 高齢者等に対応した漁場づくり

- 漁港を活用した漁場づくり
 - ・漁場の管理方法の検討
- 地先海域を活用した漁場づくり
 - ・投石に適した海域の探索と波浪など海域特性に合わせた設計

2. 交流人口の拡大

(1) 遊漁や体験漁業の振興

- 遊漁等の振興
 - ・サービス業としての遊漁等事業者の意識改革
 - ・安全で快適なサービスの提供による女性客らの掘り起こし
 - ・新たな顧客の確保に向けた効果的な情報発信
- アサリの増殖
 - ・被せ網の面積拡大による作業の増大

下半期の主な取り組み

1. 高齢者や女性の活躍の場づくり

(1) 高齢者等に対応した漁場づくり

- 漁港を活用した漁場づくり
 - ・田野浦漁港での漁場づくりについて黒潮町との協議
- 地先海域を活用した漁場づくり
 - ・H30 年度の漁場整備事業の実施に向けた市町村等との調整
 - ・民間企業と連携した実証試験の実施

2. 交流人口の拡大

(1) 遊漁や体験漁業の振興

- 遊漁等の振興
 - ・宇佐から浦ノ内にかけてのクラスタープランの作成
 - ・県外からの集客増を図るため、旅行会社等に対する情報発信の強化
 - ・シンポジウムの開催（10月 黒潮町）
- (3) アサリの増殖
 - ・活動組織及び水産試験場によるモニタリング
 - ・メンテナンスの手間がかからない被せ網の敷設方法の検証
 - ・H30 年秋の一部解禁に向けたルールづくり

【平成 31 年度末の目標〈H29 到達目標〉】

- 1. 高齢者等に対応した漁場の整備 =H31：4 漁場<H29：1 漁場における、候補地の選定、地元調整の実施、実施計画の策定>
- 2. 高齢者等に対応した漁場づくり（漁港）=H31：1 漁港<H29：1 漁港における、候補地の検討、地元調整の実施、実施計画の策定>
- 3. 遊漁や体験漁業の振興 =H31：遊漁等の実態、ニーズ把握、関連施設等の整備、遊漁船業者の組織化
<H29：遊漁振興に取り組む連携事業体等を3事業体掘り起こし>
- 4. 遊漁や体験漁業の振興（アサリの増殖）=H31：食害対策としての被せ網敷設面積 40,000 m²<H29：30,000 m²（H26 比 28,400 m²）>

【直近の成果】

- 1. 高齢者等に対応した漁場の整備 : -
- 2. 高齢者に対応した漁場づくり（漁港） : -
- 3. 遊漁や体験漁業の振興（実態調査等） : -
- 4. 遊漁や体験漁業の振興（アサリの増殖） : 食害対策としての被せ網敷設面積 枠設置 9,000 m²、被せ網取付 2,050 m²（8月10日時点）→見込み 枠設置 17,500 m²、被せ網取付 10,000 m²（9月末時点）